

平成16年(2004年)7月5日(月曜日)

世界日報



在日韓国・朝鮮人や日本人有識者が全国から集い開かれた「平和統一連合」創設大会。4日、東京・赤坂のホテルで。

「平和統一連合」創設大会

南北統一願い「在日」結集

徐英勲元大韓 赤十字社 総裁らが出席

韓半島統一と日韓友好を願う在日韓国・朝鮮人による「平和統一連合」創設大会(主催・「平和統一連合」創設準備委員会)が4日、東京・赤坂の全日空ホテルで開催された。超宗教超国家平和協議会(IIPC)世界

会長の郭錠煥氏が、約千人の出席者を前に、在日と唯物、神本主義と人本主義、民主主義と共産主義による世界分断の象徴と分析し、韓半島の平和統一が「世界の真の平和統一のモデルとなると指摘。その上で(分断の)犠牲者だった在日同胞の皆さんは、これから平和時代の主人公であり、先駆者だ」と強調した。さらに、世界平和実現に日本が貢献するため、日韓トンネルと国際ハイウェイプロジェクトの推進を日本国民に働きかけるよう求めた。



基調講演する郭錠煥——IIPC世界会長

講演。南北分断は「唯心と唯物、神本主義と人本主義、民主主義と共産主義による世界分断の象徴」と分析し、韓半島の平和統一が「世界の真の平和統一のモデルとなると指摘。その上で(分断の)犠牲者だった在日同胞の皆さんは、これから平和時代の主人公であり、先駆者だ」と強調した。さらに、世界平和実現に日本が貢献するため、日韓トンネルと国際ハイウェイプロジェクトの推進を日本国民に働きかけるよう求めた。

大会冒頭、同連合会長の選任された韓国・木浦大名誉教授・具末誤氏が

ることを紹介する一方、ネットワーカー犯罪などが深刻となっている韓国の現状を憂慮。韓国が先進国になるためには「真理と秩序を育てて精神文明を興し、南北を統一しなければならぬ」と説いた。

金致河氏は、同連合創設に対して「(韓半島)七千万人の全決意と共に、熱烈に激励したい」と期待を表明。二〇〇〇年の南北首脳会談のため平壤に同行した体験を振り返り、「祖国統一に貢献し、愛と平和と統一の歌を歌う時を迎えよう」と訴えた。李京煥氏は「世界平和に大きな貢献をしている日本が、在日同胞による平和統一の運動に、大きな役割を果たすことを願う」と、日本の役割の重要性を強調した。

(14面に関連記事)

平成16年(2004年)7月5日(月曜日)

連合会
統一晩餐
平和統一
創設

「世界平和の先頭に」

劉大行常任顧問が呼び掛け

韓半島と世界の平和統一を目指す「平和統一連合」の創設晩餐(ばんさ)会が四日、東京・赤坂の東京全日空ホテルで行われた。晩餐会では劉大行常任顧問が「互いのために生きる精神を持って、世界平和の先頭に立つ」と挨拶(あいさつ)し、参加者と共に同連合の創設を祝った。

劉大行氏は、同連合に「先導し、平和をもたらす連合」との立場を示



挨拶する劉大行常任顧問

し、「日本の中で韓国・朝鮮人が統一され、平和統一が発せした」と創設大会の意義を強調。在日韓国・朝鮮人に「海外においてのご苦労は血と涙なくしては言い表すことはできないが、今までの壁を超え、すべての同胞が互いに祖国統一のために一つになろう」と呼び掛けた。

「アジアを統一する具体

的な事業としてアジアハ イウェイと日韓トンネルを推進していることに関連して「アジア諸国が参加すべきプロジェクトだ」と強調した。

さらに同連合創設で「互いのために生きる精神を持って世界平和の先頭に立つ」と訴えた。

また、小山田秀生顧問が韓半島問題について「南北統一こそ世界平和への最短距離で、本来あるべき姿にならないならならぬ」としながらも「統一は韓国と北朝鮮だけでは難しく、その起点

は日本から始めなければいけない」と強調。「(同連合は)世界平和への大 きなきっかけになることを確信している」と語った。